赤馬通信
第９号

# 江華島（カンファド）と板門店（パンムンジョム）を訪ねる旅

当研究所理事・下関市立大学学長　下山　房雄

11 月 22－25 日、5 回目の韓国旅行をした。韓国 1 回目は、97 年に目黒区職青年部の活動家たちと、独立記念館、南大門刑務所跡（治安維持法で何人かの死刑執行もされたはず。死刑判決を下した日本人裁判官の名も抵抗者として絞首台に登った朝鮮人の名も周現甲一名を除き私は不知。知りたい！）、景徳宮（1895 閔妃暗殺現場）、パコダ公園（1919. 3. 1 運動勃発地）などを訪ねた。昨年 2 月には、下関市大交流校であるプサン東義大学校の招待で玄界灘を渡った。98 年秋と昨年秋には、福岡県自治体問題研究所主催「日朝の歴史を訪ねて」シリーズの 1 回目（慶州）と 4 回目（済州島）に参加、そして今回はその 5 回目への参加だ。

今回の旅を、私は朝鮮における日本帝国主義の始点と終点を現認する旅と理解した。江華島は 13 世紀のモンゴル侵入に対して高麗王朝が 40 年立てこもって抵抗した拠点でもあるが（王家は降伏して首都開城に戻るが、抵抗部隊＝三別抄は珍島、さらに済州島に籠って「モンゴルの日本への侵攻を遅らせた」（『地球の歩き方：韓国』）と言われる激烈な抵抗を続けた）、日本が 1875 年イギリス製軍艦雲揚号を使って侵略の第 1 歩を印した場所でもある。

江華島と金浦半島の間は狭い海峡になっていて北上すれば漢江（ハンガン）に至り、さらに途中でイムジンガン（源流は北の「共和国」）と分かれて遡れば、首都ソウルに到着する。雲揚号は朝鮮半島の西海岸を測量しながら北上して、海峡の入り口の砲台の近くに接近するという挑発行為を行い、草芝鎮（チョヂヂン）という砲台から砲火を浴びせられた。この事件に先立って、フランス、アメリカが開港を要求してこの海峡で侵略戦を行い、撃退されている。海峡両岸には、多くの砲台陣地が連なるが、私たちは草芝鎮を含む三つの場所で、三つの帝国主義の爪跡に触れたのである。

海峡の風景は関門海峡に似る。1864 年に長州藩が 4 カ国を相手に戦った下関の前田砲台は今、草むらの中であるが、我々が見学した要害は朴大統領の民族主義高揚政策の下に歴史公園風に良く整備されていた。馬関戦争敗北の後、明治維新を挟んで 10 年余にして、日本が朝鮮に軍艦で迫って開国させた（1876 江華島条約）という転変の激しさは凄い。実は、長州藩は攘夷攘夷と言いながら、馬関戦争の前年に伊藤博文、井上馨ら 5 人の青年を 5 千両もかけて密かにロンドンに留学させている。攘夷思想は、関が原以来の徳川への怨念を晴らすための方便だった。だから馬関戦争後、開国の旗に簡単に代えられたのだ。現在、萩に神様として祀られている吉田松陰の「国力を養い、取り易き朝鮮、満州、支那を切り従え」る（友人宛書簡）という思想を明治から昭和にかけての日本政府は実践した。それは遂には、アジアから太平洋に拡大する戦争の道であり、1945 年 8 月 15 日で止めを刺される途であった。

日本敗戦で朝鮮は解放されたが、半島は米ソ二つの占領分担地域に 38 度線で分断された。1948 年の南鮮単独選挙→大韓民国成立、それを追っての北鮮での「共和国」成立は、38 度線を国境に変えた。48 年 4 月 3 日に始まり、30 万島民中 8 万人が殺害された済州島蜂起の主体は、大韓民国建国に反対した反逆者達とされてきたのだが、分断国家成立に反対した愛国者達なのである。50 年 6 月 25 日・朝鮮戦争勃発以降の転変は、国境の線引きをＳ字状に歪めるとともに分断の深刻さを深めた。私たちの観光バスが江華島と金浦半島の北の国境近くで、二度も（古代のドルメンを訪ねる途と昼食レストランに行く途とで）完全武装の韓国海兵隊によってＵターンさせられるという異常経験をしたごとくである。（2002/11/27）